

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

(2) 大学名

山陽小野田市立山口東京理科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒756-0884

山口県山陽小野田市大学通一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イケキタ マサヒコ) 池北 雅彦 (平成29年4月3日)		
学長	(タケダ ケン) 武田 健 (令和6年4月1日)		
研究科長	(ワダ ミツヒロ) 和田 光弘 (令和6年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部、学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学研究科 薬学専攻 博士(薬学)	薬学関係	4年	5人	2年次 0人 3年次 人 4年次 人	20人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期												
A	入学定員	人 () []	5人 5 () []	人 () []		1.2倍	1.2倍										
	志願者数	() []	() []	() []													
	受験者数	() []	() []	() []													
	合格者数	() []	() []	() []													
B	入学者数	() []	() []	() []													
	入学定員超過率 B/A	-		-								1.2					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」A0対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期									
1年次											6	[] []	
2年次													
3年次													
4年次													
計	[] ()	6	[] ()										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」**を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	6 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には挿入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の専任教員以外を 除く（助手）	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	社会系薬学・倫理特論	1後	1			3						
	医療薬学英語特論	1前	1			1						
	山口県地域医療学特論	1後	2			2	2					
	医療薬学系薬学特論	1前		2		2	1					
	臨床薬学系薬学特論	2前		2		3						
	実践臨床薬学特論・演習	2前		2		2	1					
	有機化学系薬学特論	1前		2		2						
	物理化学系薬学特論	2前		2		2	2					
	生命科学系薬学特論	2前		2		2	3					
	健康科学系薬学特論	1前		2		2	1					
	医薬品品質保証特論	2後		2		1						
	医療データサイエンス特論・演習	2前		2		1	1					
小計(12科目)	-	4	18	0	16	9	0	0	0	0	0	
演習科目	薬学特別演習	1～4通	4			10	7					
小計(1科目)	-	4	0	0	10	7	0	0	0	0	0	
演習科目	薬学課題研究	1～4通	20			10	7					
小計(1科目)	-	20	0	0	10	7	0	0	0	0	0	
合計(14科目)	-	28	18	0	16	9	0	0	0	0	0	
卒業要件及び履修方法												
①専門科目：必修科目4単位を含み合計8単位以上 ②演習科目：必修科目4単位 ③研究科目：必修科目20単位 ①、②、③の要件を満たし、合計32単位以上修得すること。 ※専門科目の選択科目のうち、「医療系薬学研究コース」及び「社会人実務薬学研究コース」は、医療薬学系薬学特論、臨床薬学系薬学特論、健康科学系薬学特論から2単位及び実践臨床薬学特論・演習、医薬品品質保証特論、医療データサイエンス特論・演習から2単位を選択必修とする。「基礎系薬学研究コース」及び「社会人創薬研究コース」は、有機化学系薬学特論、物理化学系薬学特論、生命科学系薬学特論から2単位及び医薬品品質保証特論、医療データサイエンス特論・演習から2単位を選択必修とする。「社会系薬学研究コース」及び「社会人医療社会学研究コース」は、健康科学系薬学特論、医薬品品質保証特論、医療データサイエンス特論・演習から4単位を選択必修とする。												

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の専任教員以外を 除く（助手）	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	社会系薬学・倫理特論	1後	1			3						
	医療薬学英語特論	1前	1			1						
	山口県地域医療学特論	1後	2			2	2					
	医療薬学系薬学特論	1前		2		2	1					
	臨床薬学系薬学特論	2前		2		3						
	実践臨床薬学特論・演習	2前		2		2	1					
	有機化学系薬学特論	1前		2		2						
	物理化学系薬学特論	2前		2		2	2					
	生命科学系薬学特論	2前		2		2	3	2				
	健康科学系薬学特論(未開講)	1前		2		2	1					
	医薬品品質保証特論	2後		2		1						
	医療データサイエンス特論・演習	2前		2		1	1					
小計(12科目)	-	4	18	0	17	8	0	0	0	0	0	
演習科目	薬学特別演習	1～4通	4			11	6					
小計(1科目)	-	4	0	0	11	6	0	0	0	0	0	
演習科目	薬学課題研究	1～4通	20			11	6					
小計(1科目)	-	20	0	0	11	6	0	0	0	0	0	
合計(14科目)	-	28	18	0	17	8	0	0	0	0	0	
卒業要件及び履修方法												
①専門科目：必修科目4単位を含み合計8単位以上 ②演習科目：必修科目4単位 ③研究科目：必修科目20単位 ①、②、③の要件を満たし、合計32単位以上修得すること。 ※専門科目の選択科目のうち、「医療系薬学研究コース」及び「社会人実務薬学研究コース」は、医療薬学系薬学特論、臨床薬学系薬学特論、健康科学系薬学特論から2単位及び実践臨床薬学特論・演習、医薬品品質保証特論、医療データサイエンス特論・演習から2単位を選択必修とする。「基礎系薬学研究コース」及び「社会人創薬研究コース」は、有機化学系薬学特論、物理化学系薬学特論、生命科学系薬学特論から2単位及び医薬品品質保証特論、医療データサイエンス特論・演習から2単位を選択必修とする。「社会系薬学研究コース」及び「社会人医療社会学研究コース」は、健康科学系薬学特論、医薬品品質保証特論、医療データサイエンス特論・演習から4単位を選択必修とする。												

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・ 該当教員が准教授から教授に昇任したため、「生命科学系薬学特論」の専任教員等配置を「教授2」「准教授3」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・ 該当教員が准教授から教授に昇任したため、「薬学特別演習」の専任教員等配置を「教授10」「准教授7」から「教授11」「准教授6」に変更。
- ・ 該当教員が准教授から教授に昇任したため、「薬学課題研究」の専任教員等配置を「教授10」「准教授7」から「教授11」「准教授6」に変更。

- (注) ・ 2(1) - ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	9 科目	0 科目	14 科目	5 科目 []	9 科目 []	0 科目 []	14 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	75,599 m ² 103,862 m²	m ²	m ²	75,599 m ² 103,862 m²	錯誤	
	その他	28,723 m ² 1,431 m²	m ²	m ²	28,723 m ² 1,431 m²	錯誤	
	合 計	104,322 m ² 105,293 m²	m ²	m ²	104,322 m ² 105,293 m²	登記が完了したため	
(2) 校舎	専 用	39,008 m ² 34,699 m²	m ²	m ²	39,008 m ² 34,699 m²	錯誤	
	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)		
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室		
		22 室 27 室	46 室 126 室	10 室 38 室			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標 本 点
		[うち外国書] 冊	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]		
	大学全体	66,850 [12,320] 62,635 [12,721] 64,096 [12,161] 62,635 [12,721]	1,350 [640] (949 [633])	3,063 [1,242] 2,590 [987] 3,063 [1,242] 2,590 [987]	2,584 [1,000] 2,485 [983] 2,584 [1,000] 2,485 [983]	1,037 (1,037)	0 (0)
		66,850 [12,320] 62,635 [12,721] 64,096 [12,161] 62,635 [12,721]	1,350 [640] (949 [633])	3,063 [1,242] 2,590 [987] 3,063 [1,242] 2,590 [987]	2,584 [1,000] 2,485 [983] 2,584 [1,000] 2,485 [983]	1,037 (1,037)	0 (0)
計	66,850 [12,320] 62,635 [12,721] 64,096 [12,161] 62,635 [12,721]	1,350 [640] (949 [633])	3,063 [1,242] 2,590 [987] 3,063 [1,242] 2,590 [987]	2,584 [1,000] 2,485 [983] 2,584 [1,000] 2,485 [983]	1,037 (1,037)	0 (0)	
	66,850 [12,320] 62,635 [12,721] 64,096 [12,161] 62,635 [12,721]	1,350 [640] (949 [633])	3,063 [1,242] 2,590 [987] 3,063 [1,242] 2,590 [987]	2,584 [1,000] 2,485 [983] 2,584 [1,000] 2,485 [983]	1,037 (1,037)	0 (0)	
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	1,144千円	674千円	図書購入費	3,000千円	3,000千円
	共同研究費等	1,100千円	4,000千円	設備購入費	— 千円	181千円	1,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
817.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、寄付金収入、資産運用収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山陽小野田市立山口東京理科大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
工学部	4	300	-	1260	-	1.08	1.05	-	平成21	-	令和6年度から入学定員変更(80→60)			
機械工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.11	1.09	-	平成21	山口県山陽小野田市大学通一丁目1番1号				
電気工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.11	1.09	-	平成21	同上				
応用化学科	4	60	-	300	学士(工学)	1.05	1.02	-	平成7	同上				
数理情報科学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.04	-	-	令和5	同上				
医薬工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.03	-	-	令和6	同上				
薬学部	6	120	-	720	-	1.02	-	-	平成30	-				
薬学科	6	120	-	720	学士(薬学)	1.02	-	-	平成30	山口県山陽小野田市大学通一丁目1番1号				
大学全体	4 6	300 120	-	1980	-	-	-	-	-	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあつては学科等)の(短期大学、高等専門学校にあつては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - 本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6-7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - 「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<大学院薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	嶋本 顕 (58) <令和6年4月> 博士(理学)
		生命科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	稲見 圭子 (53) <令和6年4月> 博士(薬学)
		有機化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	牛島 健太郎 (45) <令和6年4月> 博士(薬学)
		医療薬学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	恵谷 誠司 (60) <令和6年4月> 博士(理学)
		臨床薬学系薬学特論
専	教授	緒方 浩二 (56) <令和6年4月> 博士(理学)
		健康科学系薬学特論 医療データサイエンス特論・演習 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	小野 浩重 (62) <令和6年4月> 博士(薬学)
		山口県地域医療学特論 臨床薬学系薬学特論 実践臨床薬学特論・演習 薬学特別演習 薬学課題研究

【令和6年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	嶋本 顕 (58) <令和6年4月> 博士(理学)
		生命科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	稲見 圭子 (53) <令和6年4月> 博士(薬学)
		有機化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	牛島 健太郎 (45) <令和6年4月> 博士(薬学)
		医療薬学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	恵谷 誠司 (60) <令和6年4月> 博士(理学)
		臨床薬学系薬学特論
専	教授	緒方 浩二 (56) <令和6年4月> 博士(理学)
		健康科学系薬学特論 医療データサイエンス特論・演習 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	小野 浩重 (62) <令和6年4月> 博士(薬学)
		山口県地域医療学特論 臨床薬学系薬学特論 実践臨床薬学特論・演習 薬学特別演習 薬学課題研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	篠原 久明 (54) <令和6年4月> 博士(医学)
		生命科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	下川 昌文 (56) <令和6年4月> 博士(薬科学)
		社会系薬学・倫理特論 医療薬学系薬学特論 医療品品質保証特論
専	教授	田中 宏幸 (56) <令和6年4月> 博士(薬学)
		健康科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	西本 新 (50) <令和6年4月> 博士(生命科学)
		社会系薬学・倫理特論
専	教授	細井 徹 (49) <令和6年4月> 博士(薬学)
		臨床薬学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	松永 浩文 (58) <令和6年4月> 博士(薬学)
		有機化学系薬学特論
専	教授	宮本 和英 (51) <令和6年4月> 博士(薬学)
		物理化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	篠原 久明 (54) <令和6年4月> 博士(医学)
		生命科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	下川 昌文 (56) <令和6年4月> 博士(薬科学)
		社会系薬学・倫理特論 医療薬学系薬学特論 医療品品質保証特論
専	教授	田中 宏幸 (56) <令和6年4月> 博士(薬学)
		健康科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	西本 新 (50) <令和6年4月> 博士(生命科学)
		社会系薬学・倫理特論
専	教授	細井 徹 (50) <令和6年4月> 博士(薬学)
		臨床薬学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	松永 浩文 (58) <令和6年4月> 博士(薬学)
		有機化学系薬学特論
専	教授	宮本 和英 (51) <令和6年4月> 博士(薬学)
		物理化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	百溪 江 (56) <令和6年4月> Ph.D. in Physiology (米国)
		医療薬学英語特論 社会系薬学・倫理特論
専	教授	頼岡 克弘 (56) <令和6年4月> 博士(医学)
		山口県地域医療学特論 実践臨床薬学特論・演習
専	教授	和田 光弘 (54) <令和6年4月> 博士(薬学)
		物理化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	有海 英人 (49) <令和6年4月> 博士(薬学)
		山口県地域医療学特論 実践臨床薬学特論・演習 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	伊豫田 拓也 (48) <令和6年4月> 博士(理学)
		生命科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	沖田 直之 (44) <令和6年4月> 博士(薬学)
		生命科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	川上 広宣 (48) <令和6年4月> 博士(薬学)
		生命科学系薬学特論

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	百溪 江 (56) <令和6年4月> Ph.D. in Physiology (米国)
		医療薬学英語特論 社会系薬学・倫理特論
専	教授	頼岡 克弘 (57) <令和6年4月> 博士(医学)
		山口県地域医療学特論 実践臨床薬学特論・演習
専	教授	和田 光弘 (54) <令和6年4月> 博士(薬学)
		物理化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	有海 英人 (49) <令和6年4月> 博士(薬学)
		山口県地域医療学特論 実践臨床薬学特論・演習 薬学特別演習 薬学課題研究
専	教授	伊豫田 拓也 (48) <令和6年4月> 博士(理学)
		生命科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	沖田 直之 (44) <令和6年4月> 博士(薬学)
		生命科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	川上 広宣 (48) <令和6年4月> 博士(薬学)
		生命科学系薬学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	相良 英憲 (46) <令和6年4月> 博士(医学)
		山口県地域医療学特論 医療データサイエンス特論・演習 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	澁谷 典広 (50) <令和6年4月> 博士(薬学)
		医療薬学系薬学特論
専	准教授	立花 研 (46) <令和6年4月> 博士(薬学)
		健康科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	田所 高志 (44) <令和6年4月> 博士(工学)
		物理化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	武藤 純平 (47) <令和6年4月> 博士(薬学)
		物理化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	相良 英憲 (46) <令和6年4月> 博士(医学)
		山口県地域医療学特論 医療データサイエンス特論・演習 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	澁谷 典広 (50) <令和6年4月> 博士(薬学)
		医療薬学系薬学特論
専	准教授	立花 研 (46) <令和6年4月> 博士(薬学)
		健康科学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	田所 高志 (45) <令和6年4月> 博士(工学)
		物理化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究
専	准教授	武藤 純平 (47) <令和6年4月> 博士(薬学)
		物理化学系薬学特論 薬学特別演習 薬学課題研究

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

特になし

【令和6年度】

特になし

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。
 - ・ **原則としてAC教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。**
- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります。)
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要 研究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要 研究指導補助教員数
8	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
16	9	0	0	25	0	17	8	0	0	25	0
(16)	(9)	(0)	(0)	(25)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
13	8	4	8			13	9	4	8		
(13)	(8)	(4)	(8)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
17	8	0	0	25	0	17	8	0	0	25	0
[1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[]	[1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[]
研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち 教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
13	9	4	8			13	9	4	8		
[]	[1]	[]	[]			[]	[1]	[]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{25} = \boxed{4} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{25} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和5年)	<p>「審査意見への対応を記載した書類（6月）（本文）」において、専門科目の「社会系薬学・倫理特論」及び「医療薬学英語特論」については、仕事に従事しながら就学することを希望する社会人を想定し、平日日中に開講する授業のほか、集中講義で開講する授業のいずれかを選択できるように改められた。本修正により、これらの授業科目では入学定員が5名であることも踏まえると、受講者数の偏りが生じ、非常に少数の受講者となる場合も想定されるように見受けられる。「社会系薬学・倫理特論」のシラバスにおいては、授業内で小グループディスカッションやブレゼンテーションを行うことが示されていることから、授業科目に掲げる目標を達成できるよう、例えば、最低受講人数を定めるなど、十分な教育効果を確保できるように実施すること。</p>	<p>「社会系薬学・倫理特論」「医療薬学英語特論」については、社会人がいる年度は集中講義により開講、社会人がいない年度は週日講義により開講することとした。令和6年度は社会人がいるため、集中講義により開講しており、授業担当教員が社会人を含む全受講者の出席が可能な日時で授実を実施し、十分な教育効果を確保できるよう努めている。（6）</p>	<p>「社会系薬学・倫理特論」「医療薬学英語特論」については、社会人がいる年度は集中講義により開講、社会人がいない年度は週日講義により開講することとし、社会人を含む全受講者が出席可能な日時で授業を実施する。（6）</p>

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 薬学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回FD委員会（令和5年5月11日開催、出席者7名・欠席者0名） ・ 第2回FD委員会（令和5年6月6日開催、出席者7名・欠席者0名） ・ 第3回FD委員会（令和5年7月13日開催、出席者7名・欠席者0名） ・ 第4回FD委員会（令和5年9月14日開催、出席者7名・欠席者0名） ・ 第5回FD委員会（令和5年11月21日開催、出席者7名・欠席者0名） ・ 第6回FD委員会（令和5年12月14日開催、出席者7名・欠席者0名） ・ 第7回FD委員会（令和6年1月11日開催、出席者7名・欠席者0名） ・ 第8回FD委員会（令和6年3月28日開催、出席者5名・欠席者2名） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教授方法、教育内容・手段・環境等の点検及び改善に関すること。 ・ 授業評価の実施に係る企画・運営に関すること。 ・ 教育課程の点検及び改善並びに調整に関すること。 ・ FDに関する講演会及び研修会等に関すること。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究授業の実施 ・ 授業観察の実施 ・ FD研修会の開催 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究授業（授業参観を行い、授業終了後に授業担当者と参観者で意見交換を行った） ・ 授業観察（新規採用教員に対してFD委員が授業観察を行い、教授方法等を確認した） ・ FD研修会（外部講師を招聘し、対面・オンライン併用で開催した） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究授業（対象：12科目、授業参観者：67名）
--

- ・授業観察（対象：7科目、授業観察者：14名）

- ・FD研修会（開催：4回）

- 「アカデミックハラスメント防止研修」（令和5年7月7日開催、参加者48名）

- 「教学マネジメント及び第三者評価の本質を理解する」（令和5年7月21日開催、参加者38名）

- 「理系の大人数講義における効果的なAL手法」（令和5年10月23日開催、参加者63名）

- 「教育DXの拡充～文部科学省大学改革推進等補助金『ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業』の事例紹介～」（令和5年12月21日開催、参加者52名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・参観者や観察者から提出された報告書に基づき、FD委員会で審議し、結果を各授業担当者にフィードバックする。

- ・授業担当者は、FD委員会からの報告に基づき、自己点検結果を作成し提出する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業科目について、各期（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期）終了時に実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・各期（前期・後期）に分けて学内ポータルサイトにて公開する。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科は、設置の趣旨等を記載した書類に基づき、取り組みを行っている。平成29年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価を受審した際の自己点検評価書及び評価報告書、並びに地方独立行政法人法に基づき毎年度作成している業務実績報告書及び設立団体の法人評価委員会による業務実績評価書を大学ホームページに掲載し公表するなど計画どおりに進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度機関別認証評価受審時の自己点検評価書を平成30年4月に公表している。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

今年度、大学教育質保証・評価センターを受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。